

宇都宮市立陽西中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」という質問に対して「はい」「どちらかといえば、はい」の回答は65.4%で、市62.4%や県58.5%の平均より高い。学校全体で取り組んでいる自主学習の強化・定着が生徒の家庭学習に根付き始めていると考えられる。今後も家庭での自主学習がより良く身につくように工夫していく。

○「クラスは発言しやすい雰囲気である」と回答した生徒は45.3%で市や県の平均より約8%高い。「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」と回答した生徒は44.7%で市の平均より4.9%高く、県の平均より6.5%高い。各学級での学習する雰囲気が良好であると考えられる。今後もさらに生徒一人一人が主体的に学びに向かえる工夫をしていく。

○「次の教科の授業の内容はよくわかりますか。」や「次の教科などの学習は好きですか。」という質問に対しての肯定的回答が多く、多くの教科において市や県の平均を上回っている。各学習に対する興味や関心が高いと考えられる。タブレットを活用するなどしてさらに理解を深め主体的に学習する力を身に付けられる授業展開を工夫していく。

●「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。」という質問に「全くしない」と答えた生徒が30.8%いる。これらは市の27.9%や県の27.4%に比べて読書習慣が確立していないことを示していると思われる。「1か月に、何冊くらい本を読みますか。」との質問に対しては「一冊も読まない」と答えた生徒が18.9%いて、市の平均よりも5.4%、県の平均よりも2.1%高い。家庭での読書の時間も確保できるよう指導していきたい。

●「毎日、同じくらいの時間に寝ている」の質問に対して「はい」と答えた生徒は44.7%で市の平均より9.8%、県の平均より11.2%低くなっている。また、「早寝、早起きを心がけている」の質問に対して「はい」と答えた生徒は28.9%で市の平均より9.9%、県の平均より8.6%低くなっている。これらはSNSの使い方も影響していると考えられる。基本的な生活習慣も含めて、家庭での過ごし方を保護者の方々と連携しながら指導していきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の習慣化に向けた工夫	・「家庭学習の手引き」の配付 ・「自主学習のたね」等自主学習用のワークシートの配備 ・保護者と協力した「家庭学習強化週間」(年3回)の実施	・「家で、学校や塾で決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」と肯定的に答えた生徒の割合は、市の平均を3.0ポイント、県の平均を6.9ポイント上回った。
・「分かる授業」の展開、授業力向上	・一人一授業を実施し、校内研修で成果と課題を協議する。 ・一人一台端末の有効活用についての校内研修を行う。	・「次の教科の授業の内容はよくわかりますか」との設問で、数学・理科は肯定的に答えた生徒の割合が、市・県の平均を上回った。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」との設問では、7割近くの生徒が肯定的な回答をしているが、市・県の平均を8ポイント程度下回った。	・話し合い活動の充実	・一人一台端末(タブレット)のジャムボードなどの機能も利用しながら、様々な教科・場面で手軽に、効果的に話し合い活動ができるよう工夫していく。
・教科に関する調査では、5教科とも本校の平均は市の平均を下回った。	・基礎・基本の確実な定着	・数学を中心に希望者を募り、平日放課後や土曜日、夏季休業中に自習中心の「学習サポート」の時間を設け、基礎学力の底上げを図る。